

（同所）を新設し、11月に運用を始めた。半導体の製造プロセスで使われる同電源の需要増加を踏まえて開発力を強化する。

本社東側の土地52800平方メートルを取得し、鉄骨2階



サンセイエネリックが新設した「R&Dセンター」

開発研究施設 新設し運用開始

サンセイエネリック
半導体向け電源強化
プラズマ発生用高周波電源製造のサンセイエネリック（福山市新漕町）は、

延べ25000平方メートルを整備した。南海トラフ巨大地震クラスの地震や津波にも対応できるよう、重量鉄骨を使った格子状の構造。冷暖房のエネルギー効率を向上させるため、屋根や壁の断

熱性を高めるなどした。開発や設計、試作、出荷検査、事務部門が入る。投資額約10億円。

同社によると、半導体の市場拡大に伴って顧客からの受注や開発案件も増えて

いるという。杉本一弘社長は「製品開発力をさらに高めることで、多様化する顧客のニーズに対応していきたい」と話している。

サンセイエネリックは2002年設立、資本金1千万円、売上高約4億8900万円（22年3月期）、従業員約50人。

（河内慎太郎）